

患者さまを中心として、質の高いかつ安全な医療を提供します。

地域医療連携の取り組み

皆さま、こんにちは。お具合はいかがでしょう。今回の「いこいの森」では、西部病院の「地域との医療連携の取り組み」をご紹介します。

当院は、『地域医療支援病院』です。これは、地域の医療機関と協力して医療を行う病院のことです。国の考えは、「病院」には、入院施設、高度な機器や手術室があるため、それらを中心とした治療を行い、日常診療は近くのかかりつけ医（開業医）が診察するという機能分担、役割分担を行うことで、患者さまへより質の高い医療を提供することができるというものです。

当院では、初めての受診の際には、かかりつけの先生からの紹介状をお願いしておりますが、これもこの仕組みを進めていくためにご協力をいただいています。

こうした取り組みは、地域医療連携と呼ばれています。地域医療連携は『病院と診療所』の機能分担だけではなく、『病院と病院』の連携もあります。病院に勤務する多

くの職種（医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー…医療事務職等）それぞれのための勉強会や交流の機会を提供して、



病院長 田口芳雄

より質の高い医療を患者さまに提供するべく地域の連携を進めています。例えば、昨年4月からは、地域の病院と感染防止対策について定期的に打ち合わせています。

このように、時代とともに変わっていくものがあります。一方で「よい医療を提供し、地域に信頼される病院になる」という変わらないものもあります。変えるべきもの、変わってはいけないもの、これらを常に考え実践していく、という想いを、新しい年の挨拶に代えさせていただきます。

それでは、どうぞお体をお大事になさってください。



システムを入れ替えました



この年末年始を利用して、病院内の診療システムを入れ替えました。これに伴い、会計の精算機も新しくなりました。

システムの入れ替えの間、救命救急センターでの患者さまの受入を制限させていただき、ご不便をおかけいたしました。ご協力をいただき、ありがとうございました。



新しい精算機(1台増設しました)

地域医療連携に関する取り組み等

このような取り組みをしています。

(1) 呼吸器内科の初診紹介予約制の開始(平成 24 年 9 月)

呼吸器内科では待ち時間なるべく短くなるように紹介予約制を導入し、紹介状をお持ちの患者さまが、直接、病院(受付:地域医療連携係)へ電話をして初診の予約をすることが可能になりました。このため、特定の日に紹介状をお持ちの患者さまが集中しなくなることが期待されます。

また、来院して検査予約が必要だった「呼吸器パス」についても、電話で予約を受けられるようにして、患者さまの来院を減らし負担軽減を図ることができるようになりました。

なお、初診紹介予約制を行っているのは、現在、呼吸器内科のみです。



西部病院のマスコットキャラクター
「西部マリアちゃん」

(2) 講演会開催の協力(平成 24 年 10 月 11 日(木))

瀬谷区医師会が主催された「児童虐待対応研修」を、行政、医師会との協力により当院講堂で開催し、医療機関 53 人の参加がありました。今後とも、区や児童相談所、医師会とも連携を深めて、適切な対応を進めていきたいと考えています。

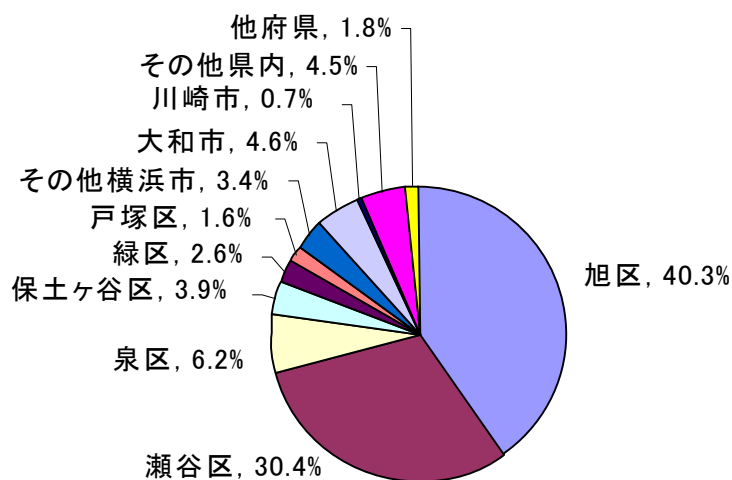
(3) 脳卒中市民公開講座(平成 24 年 12 月 23 日(日))

「脳卒中最前線～大切な人が倒れないために、倒れたときに～」をテーマに瀬谷公会堂で開催し、188 人の参加がありました。「脳卒中の外科治療」、「慢性期治療と再発予防」、「回復期リハビリテーション」や「促進反復療法の理論と実際」などの演題を熱心に聴講される方が多く、活発な質疑応答がありました。



地域別外来患者さまの割合(平成 24 年度 4 月～9 月の集計結果)

当院の外来を利用される患者さまが、どちらから来院されているか分析しました。ご住所地では、(1)旭区 40.3%、(2)瀬谷区 30.4%、(3)泉区 6.2%の順になり、横浜市内から9割弱(88.4%)の方が来院されています。これからも地域の皆さまに支持されるよう、地域連携を推進していきます。



発行：聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院 いこいの森編集委員会
〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1 TEL:045-366-1111(代)
ホームページ:<http://www.marianna-u.ac.jp/seibu/>